

3

ホントの企業探偵団シリーズ
**事業リスクを
事前にキャッチ!**

**eol 企業ナビ**

企業研究では、企業のプラス面、
マイナス面の両方を知ることが重要です。

目次

 ホントの企業探偵団へようこそ。	3
 事業のリスクは何を見ればわかる?	4
 事業のリスクが書かれているのはココだ!	5
 事業のリスクにはどのようなものがあるの?	6
 あのトヨタ自動車にもリスクが!?	7
 読まなきや大変! 深刻なリスクも公開されている!	8
 事業のリスクは大別できる	9
 e-oー企業ナビで、事業リスクを簡単チェック!	10
 ホントの情報をあなたに ~e-oー企業ナビのぞく紹介~	11
 e-oー企業ナビで、事業リスクを簡単チェック!	12
 ホントの情報をあなたに ~e-oー企業ナビのぞく紹介~	13
 ホントの情報をあなたに ~e-oー企業ナビのぞく紹介~	14

就職活動中、もしくは就職活動をこれから始めようとしている学生のみなさん、こんにちは。
私は**ホントの企業探偵団**「探偵」**名比(なび)**。
通称ナビ探偵です。

ホントの 企業探偵団へ ようこそ。

世間では景気も底打ちなどといわれていますが、みなさんの実感はどうですか？私が学生の頃はそりやもう活気があり、誰それ君の家が高級車を買つたとか、庭付きの一軒家を30年ローンで買ったなんて話がザラで、私なんかもそんな世間の勢いに乗せられましたね。いまじやローンという名の借金が残り、女房からはホントに払い切れるのかと毎日毎日…。あいや、ついグチっぽくなりましたが、何が言いたいのかというと、私にもホントに払い切れるのか不安なローン、つまり生活のリスクなんでものがあるように、会社にも事業を続けていくうえでさまざまなリスク、例えば借金が多いとか、原材料が高くなつたとか、いろいろなリスクがあるんです。

でもみなさんは、入社後にそんな話を聞かされたら一大事！ですから、会社が抱えるリスクを事前に見つけようというのが今回のテーマ。なに？うちの女房が結婚前に読んでおきたかったつて？こつちだつて、こんな口が達者だとわかつていれば…、あいやなに…。では、さつそく今回のテーマ「事業リスクを事前にキャッチ！」について見ていきましょう。



事業のリスクは何を見ればわかる？

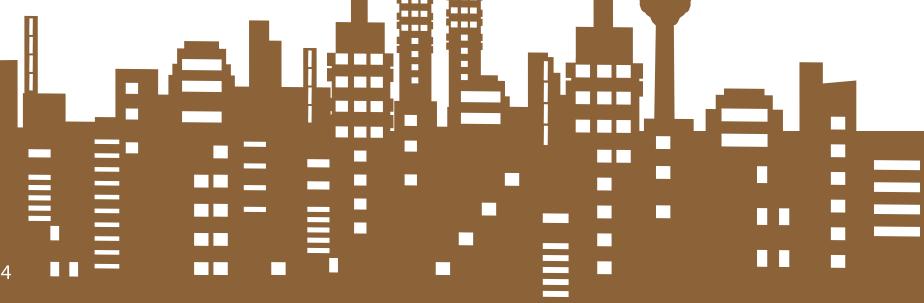
不況といわれ続けている昨今、企業倒産も増加の一途です。2009年上半年は倒産件数が約7000件にも上り、そのうち上場企業も18件倒産しています。

みなさんも就職に関連して、倒産のニュースが気になることでしょう。さて、「」のような倒産の事態を、実は事前に察知する」とができます。そのヒントの一つが、有価証券報告書の中にあります。

有価証券報告書の中の「事業等のリスク」というところで、会社の抱えている問題が整理して書かれています。

当然すべてが倒産に結びつくわけではありませんが、こういつたりリスク情報を読むと、会社から一方的に発信される情報だけでは知ることはできない、会社の本当の姿もわかります。

そこで今回は、有価証券報告書の中にある「事業等のリスク」に的を絞つて紹介する」とこにしましよう。





事業のリスクが書かれているのは「コ」だ！

まず、事業等のリスクはどこに記載されているのかを確認してみます。事業等のリスクの記載場所を探すには、有価証券報告書の目次を開きましょう。

下の表(図表1)は目次の例です。どこの会社もこの順番に目次が作られています。お目当ての事業等のリスクは見つかりましたか。そうです。第1部【企業情報】の第2【事業の状況】の上から4番目にありました。有価証券報告書には、もともと事業等のリスクの欄はありませんでした。ところが2004(平成16)年3月期の有価証券報告書から、事業等のリスクの欄を設けることを会社に義務付けました。どうしてでしょうか。その理由を簡単に説明しますと、次の

ようになります。

投資家が株式や債券などに投資するにあたって、有価証券報告書などの企業情報を参考にします。

そのとき、会社の事業の状況や経理の状況などについて適切な判断を行いうるよう、「会社が現在直面している、あるいは今後予想される事業等のリスクについて、具体的に、分かりやすく、かつ簡潔に記載する」とが求められました※。

※企業内容等の開示に関する内閣府令(昭和48年1月30日大蔵省令第51号) 第二号様式の(記載上の注意)の(32)事業等のリスク a及びb



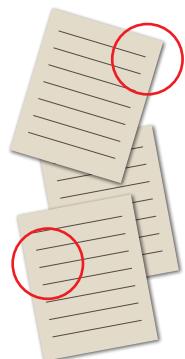
事業のリスクにはどのようなものがあるの？

有価証券報告書に事業等のリスクを記載することの第1の目的は、企業

情報の開示(ディスクロージャーといいます)を充実させて、投資家に判断の材料を提供することで、投資家を保護する」ことにあります。

しかし、有価証券報告書の利用者は何も投資家に限りません。企業の本当の姿が赤裸々に書かれていますので、銀行や取引先などの企業はもちろん、学生のみなさんも就職活動をはじめ大いに利用して下さい。ところで、事業のリスクにはどのような種類のものがあるのでしょ。もちろん企業の数だけリスクはあるのですが、あまりに細かすぎると余計にわからなくなりますよね。

ここでは事業等のリスクを大きく分



図表2

事業のリスクの種類

- ①事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、財政状態、経営成績およびキャッシュフローの状況の異常な変動
- ②特定の取引先・製品・技術等への依存
- ③特有の法的規制・取引慣行・経営方針
- ④重要な訴訟事件等の発生
- ⑤役員・大株主・関係会社等に関する重要事項等

図表1

目次		
【表紙】		
第一部【企業情報】		
第1【企業の概況】	第2【事業の状況】	第3【設備の状況】
1【主要な経営指標等の推移】	1【業績等の概要】	以下省略
2【沿革】	2【生産、受注及び販売の状況】	
3【事業の内容】	3【対処すべき課題】	
4【関係会社の状況】	4【事業等のリスク】	
5【従業員の状況】	5【経営上の重要な契約等】	
	6【研究開発活動】	
	7【財政状態及び経営成績の分析】	

事業等のリスクはここにありました。
第一部【企業情報】<第2【事業の状況】<4【事業等のリスク】



あのトヨタ自動車にもリスクが!?

トヨタ自動車※※を知らない人はいないですね。

世界的企業のトヨタ自動車にリスクなんであるのだろうかと疑問に思つ人もいると思います。

しかしリスクといふのはどのよつな企業にも存在します。リスクがない企業はありませんが、企業はそれらリスクを認識し、さまざまに対策をとっているのです(中には相当危険なリスクもありますが)。

さて、同社は2000年(平成21)年3月期に、戦後の1時期を除くとかつて経験したことがない大幅な赤字に転落し、「あのトヨタが…」と世間を驚かせたことは記憶に新しいことだと思います。そのような時期にあつて

同社のリスクに対する認識はどうのうものだったのでしょうか。

トヨタ自動車は図表3のようなリスクがあると説明しています。

トヨタ自動車は、リスク等をまず2つに大別、次にそれぞれを3つに分類し、さらに必要に応じて詳しい説明を加えています。

ただし、同社は記載された以外のリスクもある、と説明していますので、これら以外のリスクが発生することも念頭に置いておかなければならぬでしょう。それではトヨタ自動車のリスクを具体的に見てみます。

(1)市場に関するリスク ①自動車市場の競争激化について次のように述べています。

世界の自動車市場では激しい競争が繰り広げられています。(中略)自動車市場は縮小し、競争は更に激化しています。

また、世界の自動車産業のグローバル化が進むことによって、(中略)業界再編につながる可能性もあります。競争に影響を与える要因としては、製品の品質・機能、革新性、開発に要する期間、価格、信頼性、安全性、燃費、カスタマー・サービス、自動車金融の利用条件等の点が挙げられます。

競争力を維持することは、トヨタの既存および新規市場における今後の成功、販売シェア、財政状態および経営成績において最も重要です。トヨタは、昨今の自動車市場の急激

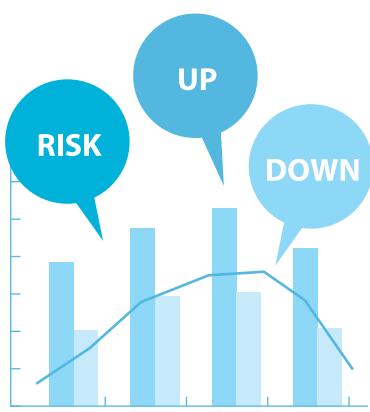
な変化に的確に対応し、今後も競争力の維持強化に向けたさまざまな取り組みを進めていきますが、将来、優位に競争することができないリスクがあります。

これらの内容は大赤字という苦い経験を踏まえて、自動車市場の持つリスクを多面的に取り上げていると思われます。

「将来、優位に競争する」ことができないリスクがあります」と書かれると、トヨタ自動車でさえもサブプライムローン問題後の自動車市場の縮小をはじめ、電気自動車や水素自動車などの急激な技術的变化等、さまざまなるリスクを意識していると理解できます。

カーの開発に力を入れたりしているが、これらの行為は顕在化しつつあるリスクを回避して、ライバルとの競争優位を作り出そうという企業努力といえそうです。

このように企業の事業リスクを理解していると、今後新聞やテレビなどで取り上げられる企業のサービスや商品がどのような意味をもつか、見方が少しだけ変わってくるのではないかと思います。



近年は中国市場をはじめとする新興国に積極的に投資をおこなつたり、プリウスを中心にハイブリッド

図表3／トヨタ自動車のリスク

大分類	中分類	小分類
(1) 市場に関するリスク	①自動車市場の競争激化 ②自動車市場の需要変動 ③自動車価格の変動	●お客様のニーズに速やかに対応した、革新的で価格競争力のある新商品を投入する能力 ●効率的な販売・流通実施する能力とブランド・イメージの維持 ●金融サービスにおける競争の激化
(2) 事業に関するリスク	①事業性のリスク ②金融・経済のリスク ③政治・規制・法的手続・災害等に関するイベント性のリスク	●為替および金利変動の影響 ●原材料価格の上昇 ●金融市場の低迷 ●自動車産業に適用される政府の規制 ●法的手続 ●政治動乱、燃料供給の不足、交通機能の障害、自然災害、戦争、テロまたはストライキの発生



読まなきや大変!? 深刻なリスクも公開されている!

トヨタ自動車の有価証券報告書に書かれていた事業のリスクはまだかわいい(?)ものです。

会社によつては、深刻な問題を事業等のリスクのなかで挙げているケース

もあります。「わざわざ自社の深刻なリスクを公開するの?」と疑問に思う人もいるかもしれません。それは前述したように、有価証券報告書は投資家を保護するためにリスクについても正直に記載しなければならないと決まつてゐたため、赤裸々なことまで書かれています。

どうです?自社がもうすぐ倒産するかも知れないんすなんて、就職情報誌などでは決して書かれることですよ。

「継続企業の前提に重要な疑義が存在しております」ということも書かれています。上場企業には会計監査というものが義務付けられていますが、会計士から、永続的に会社が発展するために克服しなければならない課題を指摘していることを、このキーワードが示しています。

もう一つの例として、半導体製造装置を主業とするエス・イー・エス

※※※という会社が2009年1月に民事再生法の手続開始を申請しました。こちらは、「顧客である半導体メーカーからの設備発注の手控え」を理由としています。

当社のそれ以前の有価証券報告書の事業等のリスクでは、「特定顧客への取引集中による影響」をリスクとして挙げています。ここで指摘してい

されています。それは、ここで挙げられていました事柄が要因となり倒産に追い込まれてしまつた…という例を挙げてみましよう。

2009年3月に、不動産投資ファンド事業のパシフィックホールディングス※※※が会社更生手続きを開始しました。パシフィックホール

ディングスは東証一部に上場していました企業です。金融市場悪化の影響もあり、負債が膨らみ資金繰りが悪化し、このような事態に至つたということが、同社から発表されました。

負債とは借金のことです返さなくてはならないお金ですが、この比率が90%というのは高いですね。

借金を返すためには返済期限までに保有する不動産を売つて返すしかないのですが、サブプライムローン問題後は、そう簡単には売れない

だろうと考え、リスクの高さを感じていたのではないかでしょうか。

またパシフィックホールディングスの「事業等のリスク」のなかで、リスクのなかでも以下のように書

かれています。

「有利子負債への依存度が高いことについて…総資産に対する有利子負債残高比率は、平成18年11月期末

64・3%、平成19年11月期末70・0%、平成20年11月期末90・2%と高い水準で推移しております。」

債務とは借金のことで必ず返さなくてはならないお金ですが、この比率が90%というのは高いですね。

債務を返すためには返済期限までに保有する不動産を売つて返すしかないのですが、サブプライムローン問題後は、そう簡単には売れない

だろうと考え、リスクの高さを感じていたのではないかでしょうか。

またパシフィックホールディングスの「事業等のリスク」のなかで、

図表4／2009年に倒産した上場会社のリスク例

会社名	倒産の要因	主なリスク情報
パシフィックホールディングス株式会社(旧証券コード8902)	債務超過 (負債総額約1,636億円)	不動産投資ファンド事業／不動産投資事業について／連結の範囲について／有利子負債への依存度が高いこと／利益相反取引／法的規制／継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況
エス・イー・エス株式会社(旧証券コード6290)	半導体メーカーからの設備発注手控えのため、新規受注が急速に減少	半導体メーカーによる設備投資の影響／特定顧客への取引集中による影響／研究開発による影響／品質に関する影響

※※※パシフィックホールディングス株式会社『有価証券報告書』(2008(平成20)年度)

※※※エス・イー・エス株式会社『有価証券報告書』(2008(平成20)年度)



事業のリスクは大別できる

これまで事業のリスクを具体的に見てきました。事業等のリスクは多岐にわたります。このため整理がつかずになります。

そのリスクの特徴がつかめないとあります。その場合の解決策として事業リスクを①企業に共通のリスク

②特定の業種あるいは業界に固有のリスク③特定の企業に固有のリスクの三段階に分けてみるのもよいかもしれません。図表5(「リスク用語一覧」)を参考にしてみて下さい。

そのリスクの特徴がつかめないとあります。そのため整理がつかずになります。

②特定の業種あるいは業界に固有のリスク

みなさんはある特定の業種に絞つて就職活動をおこなっている人が多いのではないかでしょうか。それでしたら是非、その業種特有のリスクを考えてみて下さい。例えば食品業界では飼料が高騰すると、製品価格も上げざるを得ず、消費者の支持を得られないケースもあります。

③特定の企業に固有のリスク

企業の存続にはお金が必要です。ですから財務のリスクは必ず押さえておいたほうがいい点です。その他にも人材の入れ替わりが激しいという会社には何か問題があるのか疑つてみてもいいかもしません。

①企業に共通のリスク

最近のキーワードに少子高齢化という言葉がありますね。これは全ての企業に関わりのあることです。みなさんに関わりのある業種では「学習塾」などが影響を受けると考えられます。このリスクに対してそれぞれの企業がどのような対策をとり、

ピンチをチャンスに替えていくのかを考えるのが重要です。



e-O-E 企業ナビで、事業リスクを簡単チェック

「e-O-E企業ナビ」では、この表によるキーワードを使って該当する企業を探すこともできます。いわば逆引きの方法です。キーワードはもつとたくさんありますから、ご自分の関心のあるキーワードを自由自在に駆使してみて下さい。

それでは、実際に「e-O-E企業ナビ」でキーワードを使って、要注意リスクを抱える企業をリストアップしてみましょう。

一社一社のリスク内容を確認するだけではなく、リスクフレーズを入れて該当する企業を一覧化することもできます。

例えば、「借入金への依存(度)」とい

うキーワードで検索すると25件、

「有利子負債への依存(度)」というキーワードを使って該当する企業(2009年8月末現在)。この結果から、借入金への依存度が高い状況にある企業の社名、どんな事業の会社なのか、それぞれ確認できます。

また、この検索結果を全体的に眺めると、例えば不動産業が多いというように、業種の傾向も見えてきます。このような視点も、志望先を絞るなかで活用してみて下さい。

他にも上記に挙げていたキーワードを入れて会社を探すことができまます。いろいろなキーワードで検索してみると、業界ごとの特色も見えてきますし、志望先を選択するなかで踏んでおくべきことも知ることができます。

リスクを確認することで、その会社の特性も掴めますので、会社を選択するうえで良い材料になります。

みなさんはご自分が志望する企業の事業等のリスク等の説明をよく読んでそのポイントをまとめてみて下さい。個条書きで結構です。

その練習を繰り返すことで、これまでもよく見えなかつた企業の姿がくっきりと見えるようになります。

図表5／主なリスク用語一覧

カテゴリー	代表的なキーワード
①全産業に共通のリスク	金利の変動・税率の変更・株価の変動・為替相場の変動・カントリーリスク・取引先の経営破たん・法律の改正・規制の強化・重大事故・労働災害・個人消費支出・少子高齢化・製品の欠陥・テロ・戦争・地震・自然災害・環境問題・情報漏洩
②特定の業界における固有のリスク	原料相場の変動・天候不順・食品の安全性への影響(インフルエンザ・家畜の疫病など)・衛生管理上の問題
例) 食料品	出店に関する規制・競合出店・Eコマース(ネット通販)の普及・天候不順・消費税率の引き上げ・過剰在庫
小売業	医療品の品質・副作用・後発医薬品との競合・医療品の開発コスト・薬価の改定・薬事法の改正
医薬品	特定取引先への依存・特定商品・特定市場への依存・代表者への依存・経営戦略の失敗・風評被害・競争激化・人材の確保・拠点の集中・M&A・訴訟
③固有の企業のリスク	借入金(有利子負債)への依存・財務制限条項・シンジケートローン・継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況・人材の流動性が高い
特に要注意のリスク	



ホントの情報をあなたに

～e-oー企業ナビの紹介～

企業の採用ページに載つてゐる企業情報は、良い部分が強調されて書かれています。

それは、当然多くの学生に応募してもらつためだからです。

皆さんがあなたにしている採用情報の中には、業績が右下がりといふ事実が隠されているかもしれません。

入社してから知るのでは遅いのです。

競合企業が圧倒的に強いため、自社商品がなかなか売れない……、

少子化による需要先細りのため、お先数年……、

入社後こんな思いをしながら新入社員として働いている自分がいるかもしれません。

有価証券報告書の財務情報や事業状況などの、ありのままの情報を知りましょう。

企業側から一方的に流される広告情報だけではなく

積極的にリアルな情報をつかむ努力をしてみましょう。

「e-oー企業ナビ」には、リアルな企業情報があります。

有価証券報告書を見やすく表示したり、企業の業績をグラフ表示させたり、

ありのままの企業情報が簡単に分かれます。

是非ともみなさんの企業研究に役立てください。



eol企業ナビ

企業情報の宝庫と呼ばれる有価証券報告書のデータをもとに、就職情報誌にはない真の情報が分かり易く手に入ります！

特徴

① 詳細な企業情報をわかりやすく提供

特徴

② 企業のプラス面・マイナス面の情報がある

特徴

③ いろいろな企業ランキング

特徴

④ 興味のあるキーワードで企業を探せる、テーマ別検索機能

特徴

⑤ 今後の展望・課題が読み取れる有価証券報告書を収録
エントリーシートや面接対策にも有効



これからも「ホントの企業探偵団」は企業のホントを探り続けます。
またどこかでお会いしましょう！